

日本組織細胞化学会「役員のコI自己申告書」

年 月 日

理事長 殿

私の利益相反に関する状況は下記の通りで相違ありません。

氏 名	(自署) 印
日本組織細胞化学会 における役職 (該当するものに 丸を付けてください)	理事長
	常任理事
	理事
	監事
	総会・学術集会会長
	講習会実行委員長
	理事長
勤 務 先	
勤務先における職位	
住 所	<勤務先 or 自宅> (該当する方を丸で囲んで下さい) 〒
電 話	
E-mail	
備 考 (事務局使用欄)	事務局受付日:

<依頼・確認事項>

本申告書は、原則として提出者自身が封筒に入れて封入した状態で学会事務局にご提出下さい。学会事務局では、封入されたものは開封せずに、封入されていないものは厳封の上、任期終了2年後まで保管致します。この情報は、特定の利益相反状態に係る問題につき、社会一般からの信頼を保持すべく学会が説明責任を果たすべき状況が生じた場合にのみ、理事会の承認の下、原則として理事長、利益相反委員会及び理事会に対して開示されます。

<記入上の注意>

(1)~(7)につき、就任日から遡って過去1年間の状況をご申告下さい。必要に応じて行数を増やして記入して下さい。なお、該当事項のない項目は「該当なし」にチェックを入れていただくのみで構いません。「該当あり」の場合は、その具体的な内容を記載して下さい。必ず記名・押印のうえご提出下さい。

記

- (1) 一つの企業、あるいは、法人組織や営利を目的とした団体(以下、これらを営利団体という)からの役員、顧問の報酬額が年間100万円以上の場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	企業・団体名	役割(役員・顧問等)
1		
2		

- (2) 本学会活動に関連する一つの営利団体についての1年間の株式による利益(配当、売却益の総和)が一人あたり100万円以上の場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	企業名	所有しているエクイティ
1		
2		

- (3) 一つの営利団体からの特許使用料が年間100万円以上の場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	内容	特許番号
1		
2		

- (4) 一つの営利団体からの講演料や原稿料が、年間50万円以上の場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	企業・団体名
1	
2	

- (5) 一つの営利団体からの金銭的支援(受託研究費、共同研究費、臨床試験、奨学寄付金等)が総額で年間200万円以上の場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	企業・団体等名称	受領期間	種別	金額
1				
2				

(6) 一つの営利団体が提供する寄付講座に所属している場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

No.	企業・団体等名称	受領期間	種別	金額
1				
2				

(7) 一つの営利団体から研究とは直接関係の無い旅行や贈答品などを、年間5万円以上受けた場合。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

(8) その他

第三者からみて、利益相反状態を指摘される可能性があると考えられる事項がありましたらお書き下さい。  
例えば、学会活動とは無関係な旅行や贈答品の受領などが該当します。なお、(1)～(7)のいずれに属するか不明の場合はすべて(8)にご記入下さい。

いずれか一方にチェックを入れて下さい。： 該当なし  or 該当あり

以上